



東北大学グローバルCOE

Network Medicine創生拠点

大学院セミナー

Vincent P. Kelly 博士

(Trinity College Dublin・講師)

Food for thought; the micronutrient
queuine and its links to tyrosine
biosynthesis

2008年11月25日 (火) 14時-15時

医学部大会議室 (1号館2階)

生体は食物中に含まれる微量栄養素を上手に利用して様々な生体機能分子を創りだします。Vincent Kelly博士は、これまでに必須微量元素セレンをタンパク質に取り込むために必要な SeCys-tRNAの研究において大きな業績をあげました。現在では、必須微量分子キューインによる tRNA修飾の研究に取り組んでいます。キューイン欠乏によってフェニルケトン尿症と同様にチロシン生合成が阻害されることが知られ、キューインがアミノ酸代謝異常の新規治療薬として注目されつつあります。本セミナーでは、キューインによる tRNAの塩基修飾とチロシン生合成との関わりについて最新の研究成果を発表していただきます。

参考文献

- Kelly VP, et al. Deletion of selenocysteine tRNA gene in macrophage and liver results in compensatory gene induction of cytoprotective enzymes by Nrf2. *Journal of Biological Chemistry*. 283: 2021-30, 2008.
- Kelly VP, et al. The distal sequence element of the selenocystein tRNA gene is a tissue dependant enhancer for mouse embryogenesis. *Mol. Cell Biol*. 25: 3658-69, 2005.

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。
受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。
聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知

世話人 山本雅之 (医化学・内線8089)